



アジアの未来を切り拓く 人材育成を目指して

歴史認識や領土問題など日本と中国、韓国との政治的な関係に改善の糸口が見つからない中、友好な関係を築くには、国と国との壁を越え協働できる次世代の人材育成こそが重要です。「キャンパスアジア・プログラム」の“移動キャンパス”は、生まれ育った環境・文化の違う日中韓の学生たちが、2年間で3カ国を移動しながら共同学習・共同生活を行うアジア初の試みです。学生たちは、日中韓の歴史・文化・言語を学び、「対話」を通じて相互理解を深めています。本プログラムを実例に、アジアを基点に世界で活躍するグローバル人材育成に向けた課題と展望をご紹介します。



▶「キャンパスアジア・プログラム」は、立命館大学・広東外語外貿大学（中国広州）・東西大学校（韓国釜山）の3大学が共同運営する国際教育プログラムです。アジアにおける新たな高等教育連携モデルを提供します。



©今村拓馬

基調講演

恩讐を超えて

～日中韓の地域連携と若者の役割～

姜 尚中氏（聖学院大学学長）

参加無料
※事前申し込み制

募集人数 **800名様**

高校生向け優先枠を200名様ご用意

日時 **2014年7月5日（土）** 開場／13:00 開演／13:30 終演予定／17:00

会場 **大阪国際交流センター 大ホール** 大阪市天王寺区上本町8-2-6

主催：Japan **立命館大学** China **広東外語外貿大学** Korea **東西大学校**

後援：朝日新聞社



日中韓 キャンパスアジア国際フォーラム

参加無料
※事前申し込み制

日時 2014年7月5日(土) 開場/13:00 開演/13:30 終演予定/17:00

会場 大阪国際交流センター 大ホール 大阪市天王寺区上本町8-2-6

募集人数 800名様
高校生向け優先枠を200名様ご用意

プログラム (中国語・韓国語の同時通訳あり)

●来賓挨拶/板東 久美子氏(文部科学省 文部科学審議官)

第1部 基調講演

恩讐を超えて ～日中韓の地域連携と若者の役割～

姜 尚中氏 (聖学院大学学長)

カン・サンジュン●1950年、熊本県熊本市に生まれる。国際基督教大学准教授、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授などを経て、現在聖学院大学学長、東京大学名誉教授。専攻は政治学、政治思想史。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。主な著書に『マックス・ウェーバーと近代』、『オリエンタリズムの彼方へ』、『在日』、『悩む力』など。共著に『グローバル化の遠近法』、『ナショナリズムの克服』など。小説『母-オモニー』、『心』を刊行。最新刊『心の力』。

第2部 3大学の学生によるプレゼンテーション

知識と対話から生まれる相互理解

～移動キャンパスでの共同学習・共同生活を通して～

第3部 3大学の学長によるパネルディスカッション

多文化協働型のアジア人材育成への課題と挑戦

●パネリスト

立命館大学 川口 清史 学長



かわぐち・きよふみ●京都大学大学院経済学研究科博士課程修了、博士(経済学)。1976年立命館大学に着任。産業社会学部、政策科学部にて教鞭をとる一方で、調査企画室長、教学部長、政策科学部長等学内役職を歴任し、2007年より学校法人立命館総長・立命館大学学長。大学基準協会副会長、日本私立大学連盟常務理事、文部科学省大学設置・学校法人審議会委員、第3期日韓文化交流会議委員長、高知県観光大使、他多数。

広東外語外貿大学



仲 偉合 学長

Zhong Weifeng●広東外語外貿大学学長、教授、博士課程指導教官。南京師範大学、ウエストミンスター大学、ウォリック大学、上海外国語大学で修士課程、博士課程を修了。英語言語文学士号、修士号、口筆訳学修士号、英語言語文学博士号を取得。中国翻訳協会副会長、広東省社会管理研究会会長などの職務を兼任。主な研究テーマは通訳理論と通訳教学研究、翻訳学研究である。

東西大学校

張 済国 総長



チャン・ジェグク●ジョージ・ワシントン大学政治学学士、同大学政治学修士、シラキュース大学ロースクール法学博士、慶応義塾大学政治学博士。米国弁護士や韓日フォーラム運営委員、韓国外交部政策諮問委員、関西大学客員教授など様々な分野に携わる。2011年東西大学校総長に就任。第11回日韓文化交流基金賞、孔子アカデミー先進個人賞、ミコラスロメリス大学名誉博士を受賞している。

●コーディネーター/箱田 哲也(朝日新聞社論説委員) ●オブザーバー/姜 尚中氏

応募方法……参加申し込みは、はがき・FAX・WEBで ※事前申し込み制

はがき・FAXの場合は、代表者の ①氏名 ②年齢 ③職業 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号もしくはメールアドレス ⑦参加希望人数(高校生が含まれる場合はその人数)を書いて、下記の宛先へお送りください。 ※車いすでお越しの方はお知らせください

◆はがき 〒530-8612 日本郵便(株)大阪北郵便局 私書箱191号

「キャンパスアジアフォーラム」係

◆FAX 06-6231-9029(「キャンパスアジアフォーラム」係と明記)

◆WEB <http://www.asahi-web.net/asia/>

●応募締切 6月26日(木)必着

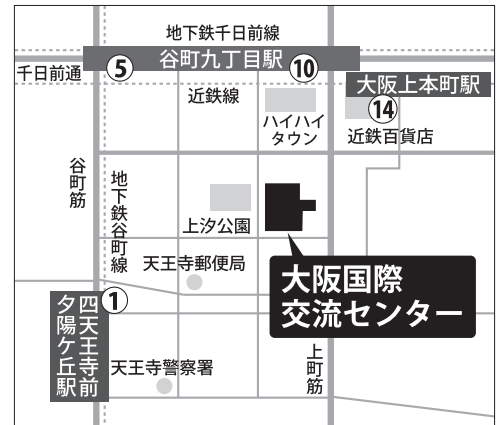
■お問い合わせ 朝日新聞社広告局 TEL.06-6201-8304(平日10時～17時)

※応募者多数の場合は抽選。当選の発表は、聴講券の発送をもって代えさせていただきます

※年齢・職業・所属は、応募者の属性を把握する目的で伺います

●近鉄線「大阪上本町駅」⑭番出口より徒歩約1分 ●地下鉄千日前線「谷町九丁目駅」⑩番出口より徒歩約2分

●地下鉄谷町線「四天王寺前太陽ヶ丘駅」①番出口より徒歩約2分 ●地下鉄谷町線「谷町九丁目駅」⑤番出口より徒歩約3分



日中韓 キャンパスアジア国際フォーラム

FAX 送信先 06-6231-9029

※切り取らずこのままFAX送信してください。

代表者氏名	フリガナ			年齢	歳	職業
住所	〒					
電話	()		メールアドレス			
参加希望人数	人	高校生が含まれる場合はその人数	人	車いすでの来場	有・無	
ご所属(任意)						